

リファレンス ガイド

BeoSound 3000 – サウンドを自在にコントロール できるミュージック システム

BeoSound 3000 は、手を近づけると魔法のようにガラス扉が開き、あなたを音楽の世界へ誘います。

BeoSound 3000 は、ラジオと CD プレーヤーが一体になったミュージック システムです。コンパクトで場所を選ばず、お好みの場所に配置することができます。

1 か所にまとめられた操作ボタンは、機能ごとにグループ分けされ、システムを簡単に操作できます。

目次

BeoSound 3000 には、次の 2 種類のガイドブックが付属しています。

ユーザー
ガイド



リファレンス
ガイド

ユーザー ガイドでは、BeoSound 3000 の基本的な操作方法を説明しています。本書リファレンス ガイドでは、BeoSound 3000 の全機能、設置方法、使用方法の詳細について説明します。

リファレンス ガイドの目次を右に示します。なお、参考のために、ユーザー ガイドの目次も以下に示します。

- BeoSound 3000 を操作する 4
- 操作パネルのボタンについて 5
- ディスプレイの表示について 5
- CD プレーヤーを使用する 6
- CD をいろいろな方法で再生する 6
- 好きなトラックだけを再生する 7
- 再生プログラムを作成する 7
- 再生プログラムを削除する 7
- ラジオを聴く 8
- 音量を調節する 8

BeoSound 3000 を設置する

- 6 BeoSound 3000 の設置に関するご注意

ケーブルを接続する

- 7 アンテナ
- 7 スピーカー
- 7 外部音源
- 7 BeoLink 接続
- 7 電源コード

BeoSound 3000 を組み立てる

- 8 ガラス扉を取り付ける
- 8 ケーブルを整理する
- 8 ケーブル カバーを取り付ける

オーディオ/ビデオシステムを設定する

- 9 BeoSound 3000 (スピーカーなし) とビデオシステムを組み合わせる
- 9 BeoSound 3000 (スピーカーあり) とビデオシステムを組み合わせる
- 9 複数の部屋で BeoSound 3000 を使用する

サウンドを調節して、記憶させる

- 10 サウンドを調節する
- 10 サウンドの調整中にディスプレイに表示されるメッセージ

時間を合わせる

- 11 内蔵時計を合わせる

ラジオ局を登録する、または削除する

- 12 ラジオ局の周波数を合わせる
- 13 ラジオ局のプログラム番号を変更する
- 13 ラジオ局の登録を削除する
- 13 ラジオ局に名前を付ける

指定時刻にオン/オフを切り替える

- 14 タイマーを設定する
- 15 タイマーの設定を確認する
- 15 タイマープログラムを削除する

ラジオと CD プレーヤーを使用する

- 16 ラジオのスイッチを入れる
- 16 音量を調節する
- 16 CD を聴く
- 16 CD のトラックを検索する

ディスプレイの表示について

- 17 ディスプレイの表示について

CD をいろいろな方法で再生する

- 18 CD のトラックをランダムな順番で再生する
- 18 CD を繰り返し再生する
- 19 同じトラックを繰り返し再生する
- 19 CD 内の指定した区間を繰り返し再生する
- 19 各トラックの最初の部分だけを再生する

好きなトラックを選んで再生する

- 20 トラックを選択して、プログラム登録する
- 20 プログラムを削除する

CD に名前を付ける

- 21 CD に名前を付ける
- 21 名前のリストを表示する
- 21 の名前およびプログラムを削除する

BeoSound 3000 のお手入れ

- 22 BeoSound 3000 をクリーニングする
- 22 CD の取り扱いについて

Beo4 リモコンを使用する

- 23 Beo4 リモコンを使用する

BeoSound 3000 をビデオ - システムと組み合わせて使用する

- 24 AV 統合フル システムをセットアップする
- 24 AV 統合システムをセットアップする

PIN コードの設定と入力

- 26 PIN コードを入力する
- 26 PIN コードをオンにする
- 27 PIN コードを変更する
- 27 PIN コードをオフにする
- 27 マスターコードを使う

このガイドの使い方

説明書内で使用しているボタン、音源、ステータス表示などは以下の例を参考にしてください。

RADIO	<i>BeoSound 3000 の</i>
CD	<i>操作パネル、Beo4</i>
PLAY	<i>リモコンのボタン</i>
A >>> B	

CD	<i>BeoSound 3000 の</i>
EDIT?	<i>下部の表示</i>

RANDOM	<i>Beo4 の表示</i>
REPEAT	

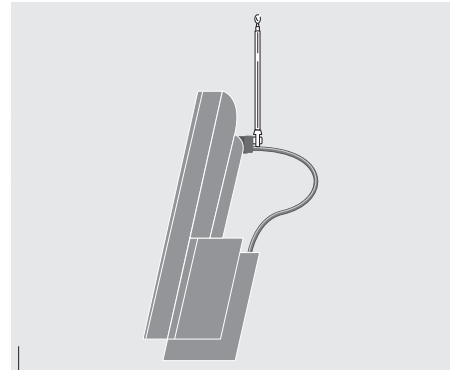
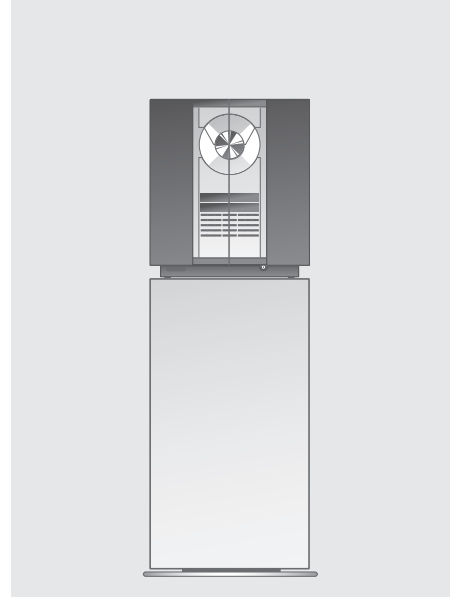
BeoSound 3000 を設置する

BeoSound 3000 は、次の手順に従って設置してください。

- 1 BeoSound 3000 をお好みの場所に設置します。
- 2 スピーカーや外部音源などの装置を設置します。
- 3 BeoSound 3000 の背面パネルにすべてのケーブルを接続します。ただし、電源コードはまだ接続しないでください。
- 4 ケーブルをケーブル カバーの溝に沿ってまとめ、本体の背面にケーブル カバーを取り付けます。
- 5 ガラス扉を取り付けます。
- 6 電源コードを接続します。

BeoSound 3000 の設置に関するご注意...

- BeoSound 3000 の設定、設置、および接続は、必ずこのガイドの指示に従って行ってください。
- BeoSound 3000 を、堅く、平らなところに設置します。できれば、テーブルやサイドボード、専用スタンドなど、固定された場所の上に配置することをお勧めします。
- BeoSound 3000 は、湿気の少ない室内用の一般家庭向け製品です。動作温度の許容範囲は、10–40° C (華氏 50–105 度) です。
- 直射日光が当たる場所や、ラジエーターなど、熱を発するものの近くには、絶対に設置しないでください。
- 本体の温度が上昇しすぎないように、BeoSound 3000 の上部と左右に 5 cm 以上の空間を確保してください。左右については、ガラス扉を開閉できるだけの空間が必要です。
- オプションのウォール ブラケットを使用して BeoSound 3000 を壁に掛ける場合、必ず正しいサイズと形状のネジとウォール プラグを使用してください。ネジとウォール プラグの種類は、壁の材質や構造を考慮し、システム本体の重さに耐えられるものを選択してください。
- すべてのケーブルの接続が済むまで、本体に接続した製品の電源を入れないでください (7 ページ参照)。



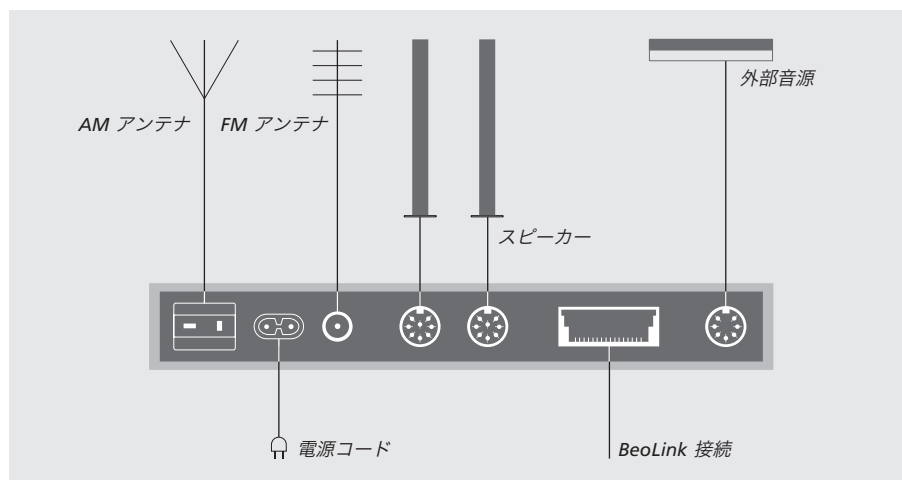
屋外に設置している FM アンテナが無い場合は、BeoSound 3000 の背面にあるクランプに室内アンテナを取り付けてください。

ケーブルを接続する

BeoSound 3000 は、単独で使用することも、Master Link ケーブルを使用して Bang & Olufsen 製ビデオシステムと接続して使用することもできます。Master Link ソケットは、BeoSound 3000 の背面にあり、BeoLink システムの接続にも使用できます。BeoLink システムを使用すると、本体を設置した部屋とは別の部屋のスピーカーで音楽を聴くことができます。*

ケーブルを接続するときは、右図やソケットパネル上のマークを参照してください。

ケーブルの接続が完了するまでは、BeoSound 3000 の電源コードをコンセントにつながないでください。



アンテナ

FM アンテナは FM と表示されたソケットに、AM アンテナは AM と表示されたソケットに接続します。

AM ループ アンテナを使用する場合、聴きたいラジオ局に周波数を合わせ、アンテナを水平方向に回転させ、受信状態の最も良い方向に向けます。

スピーカー

アクティブ スピーカーは、POWER LINK と表示されたソケットに接続します。

スピーカーからスピーカーへとループ状に信号を送る接続方法も可能です (BeoLab スピーカーのユーザーガイドを参照)。また、2 つの POWER LINK ソケットにスピーカーを 1 台ずつ接続することもできます。

BeoLab スピーカーの L・R・LINE スイッチは配置に応じて設定を変える必要があります。左に置く場合は L に、右に置く場合は R にセットしてください。

ヒント: BeoLab 2500 スピーカーを接続する場合は、付属の取扱説明書を参照してください。

外部音源

外部音源は、AUX と表示されたソケットに接続します。このソケットには、オーディオテープレコーダーやレコードプレーヤーなど、BeoSound 3000 に対応した Bang & Olufsen 製品の接続に使用できます。また、他社の製品も接続可能です。

BeoLink 接続

MASTERLINK と表示されたソケットは、BeoSound 3000 に対応した Bang & Olufsen 製のビデオシステムを接続する場合に使用します。

電源コード

電源コードは、~ マークが表示されたソケットに差し込みます。ただし、他のすべてのケーブルを接続し終わるまで、電源をオンにしないでください。

*ご注意: BeoLink システムや外部音源の詳細については、Bang & Olufsen 製品取り扱い店にお問い合わせください。

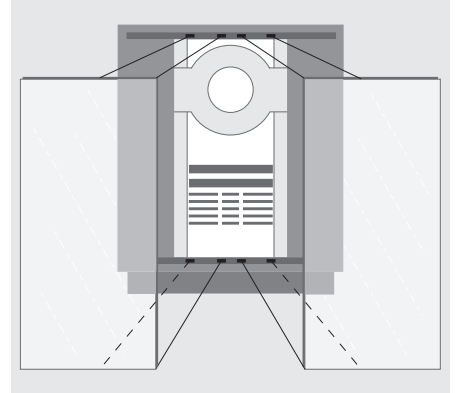
BeoSound 3000 を組み立てる

前のページで説明した準備が完了したら、ガラス扉とケーブル カバーを取り付けます。

ガラス扉を取り付ける

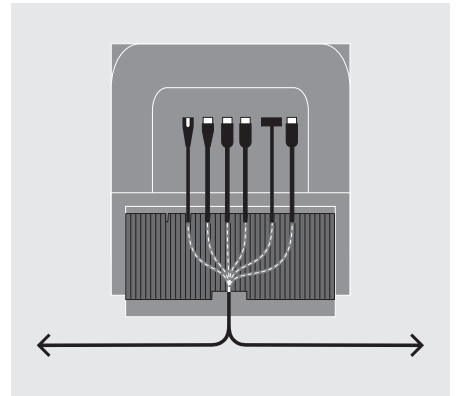
ガラス扉の背面にあるラベルで、扉の上下と左右を確認します。

- ガラス扉の固定ポイントを押して、BeoSound の固定ソケットにはめ込み、BeoSound 3000 の正面に1枚ずつガラス扉を取り付けます。
- 固定ポイントは、カチッと音がするまでゆっくりと押してください。ガラス扉が正しく固定されると、カチッという音がします。



ケーブルを整理する

右図のようにケーブル カバーの取り付け部分で接続ケーブルをまとめます。粘着テープでケーブルを固定しておくと、ケーブル カバーを取付けやすくなります。

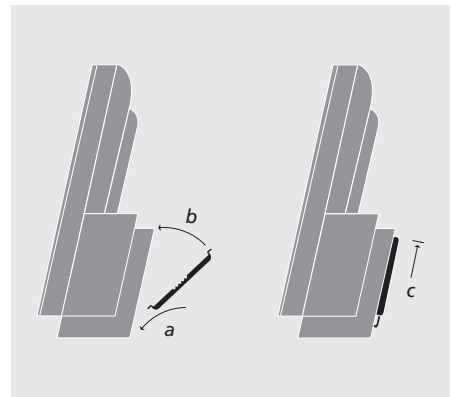


ケーブル カバーを取り付ける

以下の手順に従って、カバーを BeoSound 3000 の背面パネルのグリルに取り付けます。

- カバー下部のツメをグリルに差し込みます。
- カバー上部のツメをグリルに押し込みます。
- ツメが所定の位置でグリルに固定されるまで、カバーを上にはずらします。

ヒント: ケーブル カバーは、背面のソケットにケーブルを接続してから取り付けてください。



ご注意: ガラス扉は慎重に扱ってください。ひび割れや欠けがある場合、または何らかの破損が生じた場合、ケガの原因となりますので、すぐに交換してください。交換用のガラス扉は、Bang & Olufsen 製品取り扱い 店でご注文いただけます。

オーディオ/ビデオ システムを設定する

電源ケーブルを接続したら、本体に接続した他の製品（外部音源）を使用できるように、BeoSound 3000 を設定します。BeoSound 3000 のオプション設定のいずれかを選択します。BeoSound 3000 に接続している装置がスピーカーだけの場合、この設定は必要ありません。

BeoSound 3000 には、5 種類の Option があります。

Option 0. BeoSound 3000 にスピーカーを接続せずに、AV 統合フル システムのコンポーネントとして使用します。サウンドはテレビのスピーカー、またはテレビに接続されたスピーカーから再生されます。

Option 1. BeoSound 3000 を単独で使用する、または AV 統合システムの一部として、BeoSound 3000 にアクティブ スピーカーを接続して使用します（出荷時は、この設定になっています）。

Option 2. BeoSound 3000 を設置している部屋とは別の部屋に設置されている AV システムに接続する場合に使用します。

Option 5. BeoSound 3000 を設置している部屋で、Bang & Olufsen 製 TV も設置する場合に使用します。

Option 6. BeoSound 3000 を設置している部屋で、Bang & Olufsen 製 TV も設置しない場合に使用します。

このオプションの設定には、以下の Bang & Olufsen 製リモコンを使用できます...



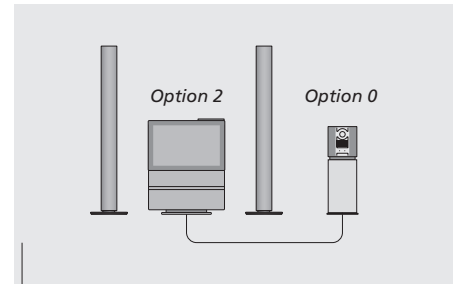
Beo4 を使用する場合...

- > • ボタンを押したまま、LIST ボタンを押します。
- > 両方のボタンを放します。
- > OPTION? と表示されるまで、LIST ボタンを押します。
- > GO ボタンを押します。
- > LIST ボタンを押して、A.OPT を表示します。
- > Beo4 のディスプレイで A.OPT が点滅しているときに...
- > ...オプションの番号 (0、1、2、5、または 6) を入力します。

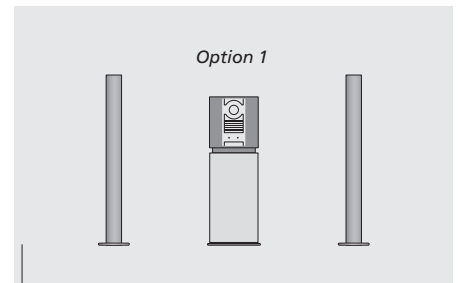


Beolink 1000 を使用する場合...

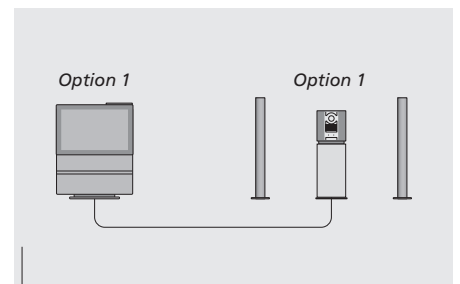
- > SOUND ボタンを押します。
- > オプション番号 (0、1、2、5、または 6) を入力します。
- > STORE ボタンを押します。



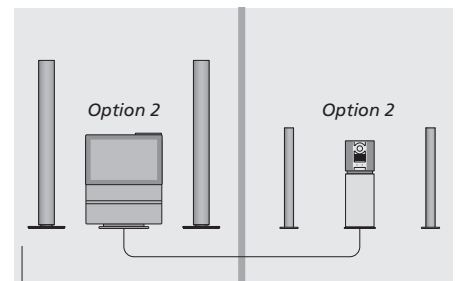
AV 統合フル システム。



BeoSound 3000 の単独システム。



部屋における AV 統合システム。



部屋にわたる AV 統合システム。

サウンドを調節して、記憶させる

出荷時にはすべてのサウンドレベルがニュートラルに設定されていますが、サウンドはお好みに合わせて自由に調節することができ、その設定を記憶させることもできます。

音量レベルを記憶させた場合、電源を入れるとその音量レベルで再生されます。

また、BeoSound 3000 では、ラウドネス機能を有効または無効にすることもできます。ラウドネス機能は、小さな音量で音楽を聴く場合、人間の耳では聞き取りにくい高周波と低周波の音域の音量を補正して、サウンドをよりダイナミックにします。

調節したサウンド設定を記憶させなかった場合、電源を入れると、前回電源を切ったときの音量レベルで再生されます。

音量を調節するだけなら、**▲** ボタンまたは **▼** ボタンを押します。

サウンドを調節する

BeoSound 3000 では、音量や高音域または低音域のレベルを調節したり、左右の音量バランスを変更することができます。サウンドを調節することで、リスニングポジションに最適な状態でスピーカーから再生されるサウンドを聴くことができます。

SOUND VOL 28	SOUND ボタンを押して、サウンド調節機能呼び出します。VOL と現在の音量レベルが表示されます	サウンド調整中にディスプレイに表示されるメッセージ... VOL 34	音量レベル 音量は、00-72 の範囲で調節できます
▲ ▼	サウンドレベルを調節します	BAL ><	バランス設定 バランスは、左右それぞれ 7 段階で調節できます
PLAY BAL ><	必要なサウンド調節項目が表示されるまで、繰り返し PLAY ボタンを押します。たとえば、BAL >< は、左右のバランスを調節する項目です	BASS 0	低音域レベル 低音域は、-5 - +5 の範囲で調節できます
◀▶	左右のバランスを調節します	TREB 0	高音域レベル 高音域は、-5 - +5 の範囲で調節できます
PLAY STORE ?	STORE ? が表示されるまで、繰り返し PLAY ボタンを押します	LOUD ON	ラウドネス設定 ラウドネス設定の有効/無効を表示します
STORE STORED	STORE ボタンを押して、現在のサウンドレベルを記憶させます。STORED と表示されます		

ヒント: STORE ボタンと PLAY ボタンは、どちらもディスプレイに表示された内容を確定するときに使用します。STORE ボタンを押した場合は、直ちに設定が記憶されます。

ご注意: BeoSound 3000 を Bang & Olufsen 製品で構成した AV 統合フルシステムのコンポーネントとして使用する場合、サウンドの調節はかならずビデオシステムの取扱説明書の指示に従ってください。SOUND ボタンを押すと、ディスプレイには USE TV と表示されます。

時間を合わせる

BeoSound 3000 には日付、時刻を表示する時計機能が内蔵されています。時計を正しい日付/時刻に合わせる必要があります。

タイマー機能 (14 – 15 ページ参照) は、BeoSound 3000 の内蔵時計が正しく設定されていることを確認してから使用してください。

内蔵時計を合わせる

以下の手順で、時刻、日付、および 年をあわせます。

CLOCK 14 : 45	CLOCK ボタンを押して、内蔵時計を呼び出します。時刻が表示されます
▲ ▼	正しい時刻に合わせます
0 – 9	数字キーでも、時刻を合わせることができます
PLAY 23 AUG	PLAY ボタンを押して、時刻を確定します。続いて日付が表示されます
▲ ▼	日付を合わせます
PLAY 2005	PLAY ボタンを押して、日付を確定します。年が表示されます
▲ ▼	年を合わせます
PLAY STORE ?	PLAY ボタンを押して確定します。STORE ? と表示されます
STORE STORED	STORE ボタンを押して、新しい設定を保存します。STORED と表示されます

ご注意: BeoSound 3000 を Bang & Olufsen 製品で構成された AV 統合フルシステムのコンポーネントとして使用する場合、時計はビデオシステム側で設定してください。この場合、BeoSound 3000 の CLOCK ボタンは時刻の表示だけに使用します。

ラジオ局を登録する、または削除する

BeoSound 3000 は、受信可能なラジオ局に自動的に周波数を合わせます。また、受信するラジオ局にプログラム番号を付けて登録することができます。登録後は、プログラム番号を入力して、そのラジオ局を直接呼び出したり、登録したラジオ局を順番に切り替えて聴くことができます。

ラジオ局の周波数を直接入力し、番号を付けて登録することもできます。

最大 60 のラジオ局を登録できます。登録したラジオ局を区別しやすいように、短い名前を付けることもできます。名前を付けない場合、放送局から送信されてくる名前がディスプレイに表示されます。

ラジオ局の周波数を合わせる

BeoSound 3000 は、自動的に周波数を合わせることができ、受信可能なラジオ局をすべて聴くことができます。受信状態が悪い場合は、周波数を微調整することもできます。

		...		
	RADIO	RADIO ボタンを押して、ラジオのスイッチを入れます	PLAY P 15 ?	PLAY ボタンを押して確定します。未登録のプログラム番号のうち、最も小さい番号が表示されます
	TUNE FM ?	TUNE ボタンを押して選局機能呼び出します。FM ? と表示されます	▲ ▼	必要に応じて、プログラム番号を変更します
	▲ ▼	FM から AM に、または AM から FM に切り替えます	0 - 9	または、プログラム番号を入力します
	PLAY FM 88.9	PLAY ボタンを押して、FM または AM を選択します。FM または AM と現在の周波数が表示されます	PLAY STORED	PLAY ボタンを押して、受信中のラジオ局にプログラム番号を割り当てます。STORED と表示されれば、登録は完了です
	▲ ▼	低い周波数または高い周波数に向かって、ラジオ局を探します		
	0 - 9	または、周波数を直接入力します		
	PLAY FINE 0	PLAY ボタンを押して、ラジオ局を確定します*。FINE 0 と表示されます		
	▲ ▼	必要に応じて、周波数を微調整します		
	PLAY STEREO ?	PLAY ボタンを押して確定します。STEREO ? と表示されます		
	▲ ▼	必要に応じて、STEREO と MONO を切り替えます		
		...		

*ヒント: ラジオ局が見つかったときに、PLAY ボタンの代わりに STORE ボタンを押すと、周波数の微調整とステレオ/モノラルの選択を省略できます。続いて、プログラム番号を入力し、PLAY ボタンまたは STORE ボタンを押してラジオ局を登録します。

ご注意: ステレオ信号が弱くノイズが多い場合、BeoSound 3000 は自動的にサウンドをモノラルに切り替えます。手動でモノラルに切り替えることもできます。

ラジオ局のプログラム番号を変更する

未登録のプログラム番号のうち、自動的に表示された最も小さい番号でラジオ局を登録しますが、登録された番号は、後で別の番号に変更することができます。

TUNE FM ?	TUNE ボタンを押して、ラジオ局の周波数を合わせます。FM ? (または AM ?) と表示されます
PLAY	PLAY ボタンを押して確定します
STORE P 15 ?	聴いているラジオ局のプログラム番号を変更するには、STORE ボタンを押します。プログラム番号が表示されます
1 0	プログラム番号を入力します (例; 10)
STORE STORED	もう一度 STORE ボタンを押して、ラジオ局のプログラム番号を登録します。STORED と表示され、選択したプログラム番号で登録されます。新しいプログラム番号が登録されると、その番号の元のラジオ局は削除されます

ヒント: ラジオ局は元のプログラム番号にも登録されたままになっています。

ヒント: 登録したい番号に既に別のラジオ局が登録されている場合、元のラジオ局は削除されますので、もう一度選局して別のプログラム番号を登録してください。

ラジオ局の登録を削除する

プログラム番号を付けて登録したラジオ局は、いつでも登録を削除できます。

0 - 9 RADIO 7	数字ボタンを押して、ラジオ局を選択します
DELETE DELETE ?	DELETE ボタンを押して、聴いているラジオ局の登録を削除します。DELETE ? と表示されます
DELETE DELETED	もう一度 DELETE ボタンを押して、ラジオ局の登録を削除します。DELETED と表示され、ラジオ局の登録が削除されたことを示します

ラジオ局に名前を付ける

登録したラジオ局には、短い名前を付けることができます。名前には、数字またはアルファベットを最大 8 文字使用できます。聴いているラジオ局の名前は、ディスプレイに表示されます。

NAME A _ _ _ _ _	NAME ボタンを押して、ネーミング機能呼び出します。1文字目の位置に A が点滅表示されます
▲ ▼	文字を選択します
▶▶ D _ _ _ _ _	ボタンを押すと、1文字目が確定して、次の文字位置に移動します。これを繰り返して、最後の文字位置まで入力します
STORE STORE ?	STORE を押して、登録する名前を確定します。STORE ? と表示されます
STORE STORED	もう一度 STORE ボタン*を押して、名前を登録します。STORED と表示され、名前が登録されます

*ヒント: STORE ボタンの代わりに DELETE ボタンを押すと、ラジオ局の名前だけが削除されます。

指定時刻にオン/オフを切り替える

BeoSound 3000 には、曜日と時刻 (毎日も可能) を指定して自動的にオン/オフを切り替えるタイマー機能があります。

タイマー機能のプログラムは最大 15 まで登録できます。たとえば、朝起きる時間に合わせて CD やラジオを再生できます。また、夜寝る前に、指定した時間に再生を停止したい場合には、音源が待機状態 (STANDBY) になるようにタイマーを設定できます。

タイマーは、例えば、月曜日、火曜日、水曜日に設定した場合、毎週その曜日だけタイマー機能のプログラムが実行されます。

タイマー機能は、いつでも変更または削除できます。

BeoSound 3000 を Bang & Olufsen 製品で構成された AV 統合フルシステムのコンポーネントとして使用する場合は、ビデオシステムの取扱説明書に従って、タイマーを設定してください。BeoSound 3000 の TIMER ボタンを押しても、ディスプレイには USE TV と表示されるだけです。

タイマーを設定する

タイマーの設定は、TIMER ボタンを押して、ディスプレイの表示を確認しながら行います。タイマーの設定を登録する前に、違うボタンを押したり、CD に切り替えたりすると、設定したタイマー プログラムはキャンセルされます。

TIMER NEW ?	TIMER ボタンを押して、タイマー機能呼び出します。NEW ? と表示されます	... ◀▶	曜日を選択します
PLAY RADIO ?	PLAY ボタンを押して、新しいタイマープログラムを作成します。RADIO ? と表示されます	▲	曜日をプログラムに含みます
▲	使用する音源を選択します	▼	曜日をプログラムから除外します
PLAY P.NO 12 ?	音源が表示されたら、PLAY ボタンを押して確定します。ラジオを選択した場合は、プログラム番号が表示されます	MT T SS	選択した曜日が表示されます
▼	プログラム番号を選択します	PLAY STORE ?	PLAY ボタンを押して、ディスプレイに表示された曜日を確定します。STORE ? と表示されます
PLAY ON 20:00	PLAY ボタンを押して確定します。開始時間が表示されます	PLAY STORED	PLAY ボタンを押して、タイマー プログラムを確定します。STORED と表示され、タイマー プログラムが登録されます
0 - 9	開始時間を入力します	ON/OFF	ON/OFF ボタンを押してタイマーを有効にします。BeoSound 3000 に接続されているスピーカーのオン/オフが切り替わります
PLAY OFF 20:00	PLAY ボタンを押して確定します。停止時間が表示されます		タイマー設定がオンのときは、緑色のインジケーターが点灯します
0 - 9	停止時間を入力します		
PLAY MTWTFSS	PLAY ボタンを押して確定します。MTWTFSS と表示されます。文字は、各曜日の頭文字を示しています。左から月曜日を表す M で始まっています	...	

ヒント: タイマーの設定を間違えてしまい、登録させたくない場合、STORE ? と表示されたときに ▲ ボタンを押すと、表示が EXIT ? に変わります。続けて、PLAY ボタンを押すと、タイマー プログラムを登録せずに、タイマー プログラムの設定を終了します。

STANDBY タイマーを設定する場合、登録する必要があるのは停止時間だけです。

ご注意: ディスプレイに表示される音源のリストには、N.MUSIC (PC に保存された音楽) と N.RADIO (インターネットのラジオサイト) が含まれています。これらは、BeoLink PC 2 を使用して BeoSound 3000 をインターネットへアクセスできるようにしている場合にのみ有効です。

タイマーの設定を確認する

タイマーの設定内容は、後で確認/変更することができます。

TIMER NEW ?	TIMER ボタンを押して、タイマー機能呼び出します。NEW ? と表示されます
▲ CHECK ?	ボタンを押して、CHECK ? の表示に切り替えます
PLAY	PLAY ボタンを押すと、タイマープログラムが表示されます
▲ ▼	タイマー プログラムを選択します
RADIO 12 PLAY	変更する場合は、タイマープログラムが表示されているときに PLAY ボタンを押します
▲ ▼	必要であれば、音源を変更します
PLAY	音源を変更した場合は、PLAY ボタンを押して確認します
0 - 9	数字ボタンを押して、変更します
PLAY OK ?	PLAY ボタンを押して確認します。OK ? と表示されます
PLAY STORED	PLAY ボタンを押して登録します。STORED と表示され、変更されたタイマープログラムが登録されます

タイマー プログラムを削除する

タイマー プログラムを確認するときに、必要の無いタイマー プログラムを削除できます。

TIMER NEW ?	TIMER ボタンを押して、タイマー機能呼び出します。NEW ? と表示されます
▲ CHECK ?	ボタンを押すと、CHECK ? と表示されます
PLAY	PLAY ボタンを押すと、タイマー プログラムが表示されます
▲ ▼	登録されたタイマー プログラムを選択します
RADIO 12	タイマー プログラムの内容が表示されます
DELETE DELETED	DELETE ボタンを押します。DELETED と表示され、タイマー プログラムが削除されます

ラジオと CD プレーヤーを使用する

ラジオを聴くには、まず聴きたいラジオ局の周波数を合わせ、そのラジオ局にプログラム番号を付けて登録する必要があります (12ページ参照)。

CD をセットして CD ボタンを押すと、CD を聴くことができます。CD が最後の曲まで再生された後、30 秒間何もせずに放っておくと、BeoSound 3000 は待機状態に切り替わります。

ラジオまたは CD を聴く場合、操作パネルの \wedge や \vee ボタンで音量を調節できます。

ラジオのスイッチを入れる

ラジオのスイッチを入れると、前回聴いていたラジオ局が自動的に選択されます。

RADIO	RADIO ボタンを押すと、ラジオのスイッチが入ります
0-9	数字ボタンを押して、登録済みのラジオ局を選択します
\blacktriangle \blacktriangledown	登録されたすべてのラジオ局が順番に切り替わります
\bullet	待機状態に切り替えます
\wedge \vee	音量を調節します
MUTE	スピーカーの音を消音します。もう一度押すと、同じ音量で再生されます

ヒント: 0 ボタンを押すと、現在聴いているラジオ局と前に聴いていたラジオ局を交互に切り替えることができます。

CD を聴く

CD の再生はいつでも停止できます。また、再生中に別の音源に切り替えると、自動的に CD の再生が停止します。曲を選択したり、トラックを順番に移動することもできます。ボタンを押し続けると、聴きたい曲まで移動することができます。ボタンを放すと移動が止まり、そこから CD が再生されます。

CD	セットした CD を再生します
0-9	トラック番号を指定して再生します
\blacktriangle	次の曲を再生します
\blacktriangledown	前の曲を再生します
STOP	再生を停止します
PLAY	再生を再開します
\blacktriangleright	再生するトラックを順方向に移動します
\blacktriangleleft	再生トラックを逆方向に移動します
	ボタンを押し続けている間、トラックを移動します

BeoSound 3000 のディスプレイには

上部ディスプレイには、CD プレーヤーに関する情報が表示されます。トラック番号は常に表示され、再生中の場合は点滅します。再生が終了したトラックの番号は消えます。下部ディスプレイには、選択した音源に関する情報の他、設定やプログラム登録に関する情報が表示されます。

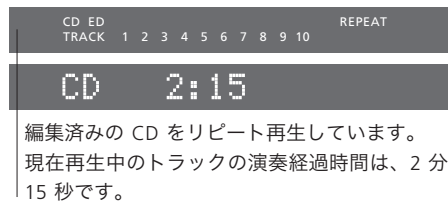
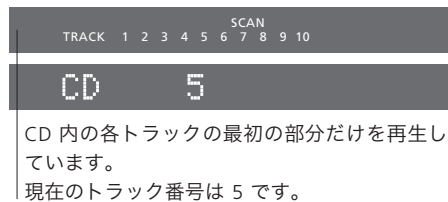
ラジオまたは CD プレーヤーのスイッチが入っているときは、DISPLAY ボタンを繰り返し押し、いろいろな情報を見ることができます。

ラジオの場合は、次の 3 種類の情報を見ることができます。

- 1 プログラム名
- 2 プログラム番号
- 3 ラジオ局の周波数

CD の場合は、次の 3 種類の情報を見ることができます。

- 1 CD の名前
- 2 トラック番号
- 3 再生中のトラックの演奏経過時間



*ご注意: CD の名前は、事前に登録されていなければ表示されません (21 ページ参照)。

CD をいろいろな方法で再生する

CD は、単純に再生するだけでなく、ランダムな順番で再生したり (ランダム再生)、繰り返し再生する (リピート再生) こともできます。また、一つのトラックだけ、または CD の中の指定した区画だけを繰り返し再生することも可能です。リピート再生の最長時間は、いずれの場合も 12 時間です。

ランダム再生とリピート再生を組み合わせることもできます。この場合、CD の再生が繰り返されるたびに異なる順序で再生されます。

頭出し再生では、CD の各トラックの最初の 15 秒だけが再生されます。

CD をランダム再生する

ランダム再生機能は、CD 内のすべてのトラックをランダムな順番で再生します。

RANDOM ON	CD 再生中に RANDOM ボタンを押します。ON と表示され、上部ディスプレイに RANDOM と表示されます
RANDOM OFF	RANDOM ボタンを 2 回押すと、ランダム再生機能が解除され、OFF と表示されます

ヒント: ランダム再生モードを途中で解除すると、再生中の曲以降のすべてのトラックが本来の順番で再生されます。この場合、ランダムモードで再生済みのトラックがもう一度再生されることもあります。BeoSound 3000 の電源を切っても、ランダム再生モードは解除されません。

CD をリピート再生する

CD は、最長 12 時間まで繰り返し再生することができます。

REPEAT ON	CD の再生中に REPEAT ボタンを押します。ON と表示され、上部ディスプレイに REPEAT と表示されます
REPEAT OFF	REPEAT ボタンを 2 回押すと、リピート機能が解除され、OFF と表示されます

ヒント: BeoSound 3000 の電源を切るか、または別の音源に切り替えると、リピート再生は解除されます。

同じトラックをリピート再生する

CD の 1 つのトラックだけを繰り返し再生することができます (最長 12 時間)。

REPLAY

ON

リピート再生したいトラックの再生中に、REPLAY ボタンを押します。ON と表示され、上部ディスプレイに REPEAT と表示されます

REPLAY

OFF

REPLAY ボタンを 2 回押すと、リピート機能が解除され、OFF と表示されます

ヒント: BeoSound 3000 の電源を切るか、または別の音源に切り替えると、リピート機能は解除されます。

CD 内の指定区画をリピート再生する

CD 内の指定区画だけを繰り返し再生することができます。

A>>>B

リピート再生する区画の最初の位置で、A>>>B ボタンを押します。上部ディスプレイに A と表示されます

再生は継続されます

▶▶

目的の位置 (区画の最後) まで順方向に移動します

A>>>B

区画の最後にきたら、もう一度 A>>>B ボタンを押します。上部ディスプレイに A>>>B と REPEAT が表示されます

A>>>B

A>>>B ボタンを押すと、指定区画のリピート再生機能が解除されます

ヒント: BeoSound 3000 の電源を切るか、または別の音源に切り替えると、リピート再生機能は解除されます。

各トラックの最初の部分だけを再生する

各トラックの最初のCD秒だけを順番に再生することができます (頭出し再生)。すべてのトラックの頭出し再生が終わると、先頭から通常どおり CD が再生されます。

SCAN

SCAN ボタンを押すと、頭出し再生が開始します。上部ディスプレイに SCAN と表示されます



スキャン中にボタンを押すと、トラックを移動できます

0-9

数字ボタンを押して、頭出し再生したいトラックを指定することも可能です

PLAY

PLAY ボタンを押すと、頭出し再生が解除され、残りのトラックが通常通り再生されます

好きなトラックを選んで再生する

編集機能を使用すると、トラックを再生する順番を編集することができます。また、その順番をプログラム登録することもできます。CD の編集では、頭出し再生を行い、プログラムに含むトラックを指定します。プログラムを編集登録している CD をセットすると、プログラムに登録されたトラックだけが再生されます。登録されたトラックは番号順に再生されます。編集済み CD を再生する場合、選択されたトラックだけが再生され、ディスプレイには CD ED と表示されます。また、編集済みの CD のすべてのトラックを再生することも可能です。

プログラムを再生、または削除する

CD を編集して好きなトラックを選択した場合、それ以降、その CD を再生するときは選択されたトラックだけが再生されます。CD の全トラックを再生することもできます。プログラムを削除すると、全トラックが再生されるようになります。

CD

CD ボタンを押すと、登録されたプログラムに従って、CD が再生されます。上部ディスプレイに CD ED と表示されます

CD-ALL

CD の全トラックを再生するには、...

CD-ALL ボタンを押します

編集したプログラムを削除するには...

編集済みの CD の再生中に EDIT ボタンを押します。EDIT ? と表示されます

EDIT

EDIT ?

DELETE

DELETED

DELETE ボタンを押して、プログラムを削除します。DELETED と表示されます

トラックを選択して、プログラムに登録する

再生するトラックを編集するには、CD を再生する必要があります。再生中のトラックをプログラムに登録するか除外するかを指定しなかった場合、そのトラックは自動的に登録されます。編集を途中で終了した場合、登録/除外を指定しなかった残りのトラックはすべて除外されたものとみなされます。

EDIT

EDIT ?

CD を再生して、EDIT ボタンを押します。EDIT ? と表示されます

PLAY

EDITING

PLAY ボタンを押して、CD の頭出し再生を開始します。

EDITING と表示され、上部ディスプレイには、SCAN と表示されます



▲ ボタンを押して、トラックをプログラムに登録します



▼ ボタンを押して、トラックを除外します

EDIT OK ?

最後のトラックの登録/除外を指定すると、EDIT OK ? と表示されます

PLAY

STORED

PLAY ボタンを押して、プログラムを登録します。STORED と表示され、プログラムが登録されます

STORE

EDIT OK ?

または、すべてのトラックの頭出しが終わる前に、STORE ボタンを押します。EDIT OK ? と表示されます

STORE

STORED

STORE ボタンを押して、プログラムを登録します。STORED と表示され、プログラムが登録されます

ご注意: 最大 200 枚まで CD を編集してプログラムを登録できます。登録したプログラムの数が 200 になると、ディスプレイには FULL と表示されます。その場合、登録済みのプログラムを削除しなければ、新しいプログラムを登録することはできません。

CD に名前を付ける

CD に名前を付けて、区別できます。名前を付けると、CD をセットしたときにディスプレイに名前が表示されます。BeoSound 3000 は、最大 200 件の名前を登録できます。名前には、数字またはアルファベットを最大 8 文字使用できます。

CD に名前を付ける

名前を付ける CD は、BeoSound 3000 で再生する必要があります。名前の変更、および削除も可能です。CD ボタンを押すと、ネーミング機能を解除できます。

NAME A _ _ _ _ _	NAME ボタンを押して、ネーミング機能を呼び出します。1文字目の位置に A が点滅します
▲ ▼	文字を選択します
▶▶ M _ _ _ _ _	選択した文字を確定すると、次の文字位置に移動します
STORE STORE ?	STORE ボタンを押して、名前を確定します。STORE ? と表示されます
STORE STORED	もう一度 STORE ボタン*を押して名前を登録します。STORED と表示され、名前が登録されます

*ヒント: STORE ボタンの代わりに DELETE ボタンを押すと、その CD の名前だけが削除されます。

名前のリストを表示する

CD に付けた名前はリストで確認できます。ディスプレイにリストを表示して、CD に付けられた名前と登録されているプログラムを一緒に削除することができます。

NAME NAME MEMORY DISC 1	CD の再生中に、NAME ボタンを 2 回押して、CD の名前やプログラムが登録されているヒントリ機能を呼び出します。MEMORY としばらく表示された後、現在の CD の名前が点滅します。名前が付いていない場合、ディスク番号 (例: DISC 1) が表示されます
▲ ▼	ボタンを押していくと、名前またはディスク番号が順番に表示されます
DELETE DELETE ?	削除したい名前が表示されたら、DELETE ボタンを押して名前と編集されたプログラムを確定します。DELETE ? と表示されます
DELETE DELETED	もう一度 DELETE ボタンを押して、名前とプログラムを削除します。DELETED と表示され、名前とプログラムが削除されます
CD	CD ボタンを押すと、ヒントリ機能が終了します

ヒント: BeoSound 3000 のヒントリが空の場合は EMPTY、空気が無い場合は FULL と表示されます。

BeoSound 3000 のお手入れ

クリーニングなどの一般的なお手入れは、各自で行うようにしてください。以下の説明に従って、適切なお手入れを行ってください。

ガラス扉は慎重に扱ってください。ひび割れや欠けがある場合、または何らかの破損が生じた場合、ケガの原因となりますので、すぐに交換してください。交換用のガラス扉は、Bang & Olufsen 製品取り扱い店でご注文いただけます。

BeoSound 3000 のお手入れと

BeoSound 3000 をお手入れする前に、ガラス扉が開閉しないように電源コードを外しておきます。電源コードを外している間、ガラス扉は手動で開閉できます。ガラス扉は、少し動かすだけで、簡単に開閉できます。

乾いた柔らかい布で、BeoSound 3000 に付いたほこりを拭き取ります。

必要に応じて、ガラス扉を取り外して内側の汚れを拭き取ってください。ガラス扉を取り外すときは、開いている状態で1枚ずつ取り外します。しっかりと扉をつかみ、外側にゆっくりと引っ張りながら、4つの固定ポイントから扉を外します。ガラス扉には、中性のガラス用洗剤のご使用をお勧めします。

前述の説明に従って、ガラス扉を元通りに取付け直します。BeoSound 3000 の電源コードをつなぐ前に、扉を少し開いた状態にしておきます。

CD の取り扱いについて



CD のクリーニングには、溶剤や研磨剤の含まれていないクリーナーを使用してください。また、CD は上の図のように、中心から縁に向けて真っ直ぐに拭いてください。

ヒント: CD は丁寧に扱ってください。CD は必ず縁を持ち、BeoSound 3000 から取り出した後、CD ケースに入れておけば、クリーニングの必要もなくなります。

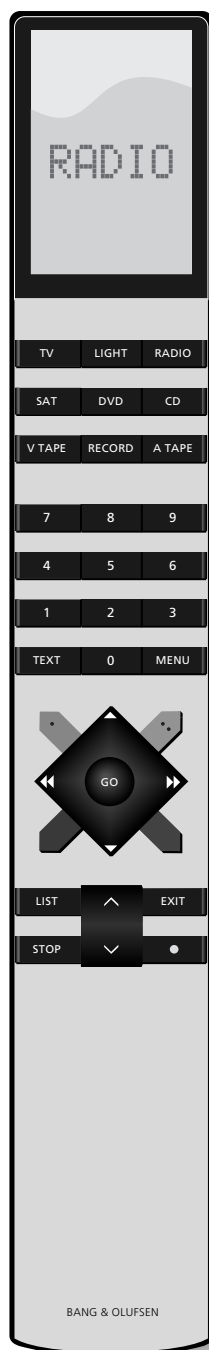
CD に指紋やごみ、汚れが付いた場合は、毛羽立ちのない乾いた柔らかい布で拭き取ります。高温や湿気は避け、CD の表面には文字を書かないでください。

ご注意: BeoSound 3000 のお手入れには、アルコール分を含む溶液は使用しないでください。また、特殊なクリーニングを施した CD は、BeoSound 3000 で使用しないでください。

BeoSound 3000 は直接操作の他に、リモコンによる遠隔操作も可能です。Beo4 リモコンを使って、BeoSound 3000 の基本機能をすべて操作できます。

Beo4 リモコンは、電源スイッチのオン/オフ、ラジオの選局、CD トラックの選択を行えます。また、CD プレーヤーの操作では、ランダム再生やリピート再生を組み合わせたリ、サウンドを調整することも可能です。

BeoSound 3000 を他の Bang & Olufsen 製品と一緒に使用する場合、リモコン操作の詳細については、その製品に付属の取扱説明書を参照してください。



- RADIO** ラジオをオンにします
- CD** CD プレーヤーをオンにします
- ▲ ラジオ局のプログラム番号や CD トラックを選択します。ディスプレイに RANDOM または REPEAT と表示されているときに、▲ ボタンを押すと、その機能が有効になり、▼ ボタンを押すと無効になります
- ▼
- 0 - 9** 数字ボタンを使用して、ラジオ局のプログラム番号や CD のトラック番号を直接指定できます
- ◀▶ CD の聴きたいトラックを探すことができます
- STOP** 再生を一時停止します
- GO** 再生を再開します。GO ボタンは BeoSound 3000 の操作パネルの PLAY ボタンと同じ操作機能です
- LIST** Beo4 がないボタンや機能* (RANDOM や REPEAT など) を表示します*
- RANDOM**
- REPEAT**
- GO** Beo4 のディスプレイに表示された音源または機能を有効にします
- ^ 音量を調節します。ボタンの中心を押すと、スピーカーが消音状態になり、もう一度押すと元の音量レベルに戻ります
- v
- BeoSound 3000 を待機状態に切り替えます

*ご注意: Beo4 関連のボタンを Beo4 に表示するには、Beo4 の機能リストにボタンを追加する必要があります。

RANDOM や REPEAT を Beo4 に追加すると、ランダム再生とリピート再生を使用できるようになります。

A.AUX を追加すると BeoSound 3000 の AUX ソケットに接続された外部音源のオン/オフ切り替えが可能になります。

Beo4 にボタンを追加する方法の詳細については、Beo4 の取扱説明書を参照してください。

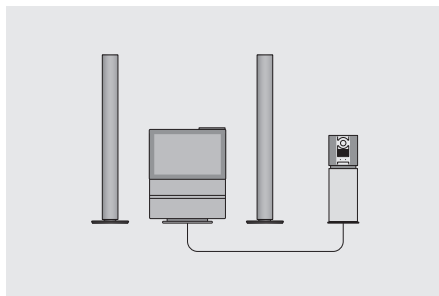
BeoSound 3000 をビデオ システムと組み合わせて使用する

Bang & Olufsen のビデオ システムと一緒に BeoSound 3000 を使用するには、専用の Master Link ケーブルで接続し、オーディオ/ビデオ (AV) 統合システムとして設定を行う必要があります。

Bang & Olufsen の製品を相互に接続して使用すると、音源のある部屋から別の部屋にサウンドを配信させることができます。

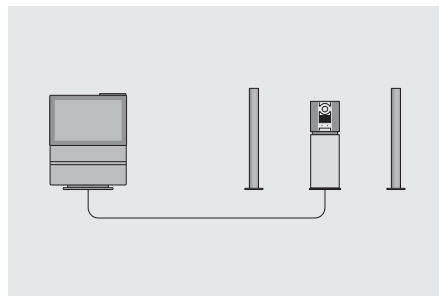
AV 統合システムには様々な設定方法があります。詳細については、Bang & Olufsen 製品取り扱い店にお尋ねください。

AV 統合フルシステムをセットアップする



BeoSound 3000 を AV システムに完全に統合する場合、スピーカーはビデオ システムに接続します。このリファレンス ガイドで説明した一部の機能もビデオ システムに引き継がれます。さらに、すべてのリモコン操作 (オーディオとビデオ) をビデオ システム側で受け付けることになります。詳細については、ビデオ システムの取扱説明書を参照してください。

AV 統合システムをセットアップする



AV 統合システムでは、1 組のアクティブスピーカーを BeoSound 3000 に接続します。BeoSound 3000 とビデオ システムの両方のシステム スピーカーから音源を聴くことができます。BeoSound 3000 とビデオ システムは、別々の部屋に設置できます。

Beo4 リモコンを使用する

AV システムの音源を再生するには...

- Beo4 の音源ボタン (CD、RADIO、TVなど) を押します

ラジオと TV を同時受信 (TV を見ながらラジオを聴く) するには...

- TV ボタンを押して、TV の電源を入れます
- Beo4 のディスプレイに AV* と表示されるまで、LIST ボタンを繰り返し押します
- RADIO ボタンを押して、ラジオの電源を入れると、同時受信が開始されます

Beo4 リモコンを使用する

BeoSound のスピーカーで、TV、ビデオ、または衛星放送を聴くには...

- Beo4 のディスプレイに AV* と表示されるまで、LIST ボタンを押します
- TV ボタンを押すと TV サウンドを、V TAPE ボタンを押すとビデオ サウンドを、SAT ボタンを押すと衛星放送のサウンドまたはラジオ放送を聴くことができます

TV のスピーカーでラジオや CD のサウンドを聴くには...

- Beo4 のディスプレイに AV* と表示されるまで、LIST ボタンを押します
- RADIO ボタンを押すとラジオを、CD ボタンを押すと CD を聴くことができます

*ご注意: Beo4 に AV を表示するには、機能リストに追加する必要があります。機能リストに機能を追加する方法については、Beo4 の取扱説明書を参照してください。

PIN コードの設定と入力

PIN コード システムは、必要に応じて使用できます。4桁の PIN コードを使用すると、BeoSound 3000 の盗難防止にもつながります。

PIN コードを使った場合、BeoSound 3000 の電源コードが約 30 分以上コンセントから抜かれているとライトが点滅し、PIN コードシステムが稼動中であることを示します。

BeoSound 3000 を再度作動させるには、スイッチをオンにし、画面上の操作パネルで PIN コードを入力する必要があります。

3 分間 PIN コードが入力されないと、BeoSound 3000 は自動的にスタンバイモードになります。

5 回間違った PIN コードが入力されると、システムはオフになり、3時間待たなければ作動できません。

PIN コードを忘れてしまった場合、マスターコードを Bang & Olufsen 販売店から入手してください。マスターコードを使って、BeoSound 3000 を再度作動できます。

PIN コードを入力する

PIN コード システム稼動中に BeoSound 3000 の電源が一旦コンセントから抜かれると、システムを再度オンにした際に、4桁の PIN コードを入力する必要があります。

PIN _ _ _ _	PIN _ _ _ _ が表示されたら
0 - 9	PIN コードを入力します。
PIN * _ _ _	
PIN ****	PIN コードは表示されません
RADIO 1	4桁のコードが入力されると、選択されている音源がディスプレイに表示されます。 例: RADIO 1

PIN コード システムを作動する

PIN コード システムは簡単に作動することができます。4桁のコードを選んでください。

◀◀	スタンバイモード状態で、ボタンを2回押しします
◀	
STOP	STOP ボタンを押して、4桁の PIN コードを入力します。NEW PIN と短く表示された後、PIN _ _ _ _ と表示されます
NEW PIN	
PIN _ _ _ _	
0 - 9	4桁の PIN コードを入力します。PIN コードは表示されません
PIN * _ _ _	
PIN ****	
PLAY	PLAY ボタンを押して、PIN コードを登録します。CONFIRM と短く表示された後、PIN _ _ _ _ と表示されます
CONFIRM	
PIN _ _ _ _	
0 - 9	コードを再入力します。PIN コードは表示されません
PIN ****	
PLAY	PLAY ボタンを押して登録します。STORED と表示され、PIN コードが登録されます
STORED	

ご注意: 2 回続けて間違ったコードを入力すると、ERROR と表示されます。この場合、コードをもう一度入力し直さなければなりません。

PIN コードを変更する

PIN コードはいつでも変更することができます。ただし、セキュリティ上の理由から、3 時間以内に 5 回までしか変更できません。

◀◀ スタンバイ モードの状態
◀◀ 状態で、ボタンを 2 回押
します

STOP

PIN _ _ _ _

STOP を押して、4 桁の PIN コードを入力します。PIN _ _ _ _ と表示されます

0-9

PIN * * * *

NEW PIN ?

PIN コードを入力します。PIN コードは表示されません。NEW PIN ? と表示されます

PLAY

PIN _ _ _ _

PLAY ボタンを押して、新しい PIN コードを入力します。PIN _ _ _ _ と表示されます

0-9

PIN * * * *

新しい PIN コードを入力します。PIN コードは表示されません

PLAY

CONFIRM

PIN _ _ _ _

PLAY ボタンを押して登録します。CONFIRM と短く表示された後、PIN _ _ _ _ と表示されます

0-9

PIN * * * *

コードを再入力します。PIN コードは表示されません

PLAY

STORED

PLAY ボタンを押して登録します。STORED と表示され、PIN コードが登録されます

PIN コード システムを停止する

PIN コード システムはいつでも停止することができます。PIN コードを入力するだけで、システムを停止できます。

◀◀

スタンバイ モードの状態
◀◀ 状態で、ボタンを 2 回押
します

STOP

PIN _ _ _ _

STOP ボタンを押して、4 桁の PIN コードを入力します。PIN _ _ _ _ と表示されます

0-9

PIN * * * *

NEW PIN ?

PIN コードを入力します。PIN コードは表示されません。NEW PIN ? と表示されます

▲

▼

PIN OFF

ボタンを押して、ディスプレイを切り替えます。PIN OFF と表示されます

PLAY

DELETED

PLAY を押して、PIN コードシステムを停止します。DELETED と表示され、PIN コード システムが停止されます

PIN コードを忘れてしまったら

PIN コードを忘れてしまった場合、5 桁のマスターコードを Bang & Olufsen 販売店から入手してください。マスターコードを入力すると、BeoSound 3000 は使用可能となり、PIN コードシステムは停止します。

PIN _ _ _ _

PIN _ _ _ _ と表示されたら

◀◀

ボタンを 3 秒間押し続け、マスターコードを入力可能な状態にします

0-9

DELETED

5 桁のマスターコードを入力します。DELETED と表示され、PIN コード システムが停止して、設定可能な状態になります

お客様各位...

Bang & Olufsen は、お客様のご要望にお応えすることを第一に、製品を設計および開発しています。皆様にとって、使いやすく、快適な製品を提供できるように、日々努力しています。

弊社製品に関するお客様のご意見をお待ちしております。お客様が重要と感じられたことを、良い点でも悪い点でも、ぜひお知らせください。今後の製品の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございます!

宛先: Bang & Olufsen a/s
Consumer Service
dept. 7210
Peter Bangs Vej 15
DK-7600 Struer

fax: Bang & Olufsen
Consumer Service
+45 97 85 39 11 (fax.)

電子メール: beoinfo1@bang-olufsen.dk

当社のウェブサイト:
www.bang-olufsen.com



本製品は、EEU の 89/336 および 73/23 に記載されている基準を満たしています。

**CLASS 1
LASER PRODUCT**

CD プレーヤーの黒と黄色のラベルは、装置にレーザー システムが搭載されていることを警告しています。また、クラス 1 レーザー製品であることを示しています。CD プレーヤーに不具合が生じた場合、Bang & Olufsen 製品取り扱い店にお問い合わせください。本製品の分解修理は、必ず専門のサービス担当者にお任せください。



注意: 本書に記載されていない操作、調整、手順を行うと、レーザー光線を浴びる危険があります。

